

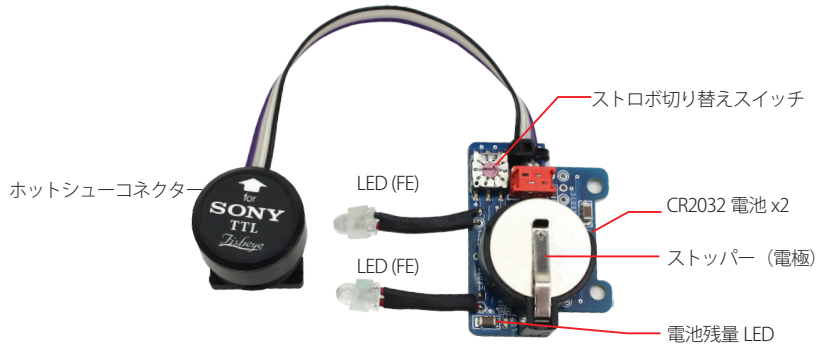
NA HSS TTL コンバーター SONY FE / E / C

21795

21796

21797

各部名称



NA HSS TTL コンバーター SONY FE



NA HSS TTL コンバーター SONY E



NA HSS TTL コンバーター SONY E



仕様

バッテリー：	CR2032 電池× 2
発光：	TTL 調光、マニュアル、HSS (ハイスピードシンクロ)
連続使用時間：	150 時間
対応ストロボ：	SEA&SEA / YS-D130R、YS-D3 DUO、YS-D3 Mark II、YS-D3、YS-01SOLIS、YS-03SOLIS
	INON / Z-330、S-220、S-2000
対応光ファイバークーブル：	Nauticam / NA ユニバーサルオプティカルファイバー NA ユニバーサルオプティカルファイバー L
	SEA&SEA / 光ファイバークーブル II S/2 コネクタ 光ファイバークーブル II M/2 コネクタ 光ファイバークーブル II L/2 コネクタ

使用方法

本製品は、カメラの発光信号をホットシュー経由で外部ストロボに伝達し、Nauticam の Sony ミラーレス用ハウジングで TTL 調光またはマニュアル / HSS (ハイスピードシンクロ) 発光が可能となります。対応ハウジングは、WEB サイトでご確認ください

カメラの基本セッティング

- ・シャッター方式を「メカシャッター」に設定します。
- ・「電子先幕シャッター」でストロボ発光が行えるカメラの機種シャッター方式を「電子先幕シャッター」に設定して使用することも可能ですが、高速シャッター使用時に、画面に横縞が入ることがあります。
- ・露出モードは、シャッタースピードと絞りを手動で固定できる「M モード」をおすすめします。

ストロボ切り替えスイッチの設定

本製品とあわせて使用するストロボの機種により、スイッチを切り替えます。スイッチの切り替えは、「⇒」を回転させて該当の番号に合わせます。※切り替えには精密マイナスインドライバーをご使用ください。

0 - マニュアル発光 (プリ発光 OFF)	6 - SEA&SEA YS-D130R / YS-D3 DUO
1 - SEA&SEA YS-D3MKII	／ INON Z-330
2 - SEA&SEA YS-D3	7 - SEA&SEA YS-D130R (HSS)
3 - SEA&SEA YS-01 SOLIS	8 - No Signal
4 - SEA&SEA YS-03 SOLIS	9 - No Signal
5 - INON S-220 / S-2000	



SEA&SEA YS-D130R 使用時の注意

- ・水中で、TTL 調光 / マニュアル発光と HSS (ハイスピードシンクロ) の切り換えは行えません。
- ・陸上でのセッティング時に、TTL 調光 / マニュアル発光で撮影するか、HSS で撮影するか選択してください。
- ・TTL 調光で撮影の場合はストロボ切替スイッチを「6」、HSS で撮影の場合は「7」にセットしてください。

発光モード

TTL 調光

本製品に対応したストロボで、TTL 調光を行うことができます。
カメラのシャッタースピードは、シンクロ同調スピード以下にセットします。
・ストロボを「TTL モード」にセットします。
・TTL 調光補正は、外部ストロボ側またはカメラ側で行うことができます。



- TTL 調光は、機材 (ストロボ、レンズなど)、撮影条件 (撮影距離、絞り、感度、被写体など) によって露出差が生じる場合があります。まずは、カメラとレンズのセッティングを ISO 感度 200 ~ 400、広角撮影の場合は絞り値 F8 ~ 16、マクロ撮影の場合は絞り値 F16 ~ 22 に設定しお試しください。撮影結果により、感度や絞り値を調整してください。
- マクロ撮影の場合、ストロボから被写体までの最短距離は、水中で 0.35m 以上 (陸上テストの場合は 0.7m 以上) が必要です。
- 2 灯の外部ストロボを使用する場合は、ハウジング側のコネクタにシングルタイプの光ファイバーをそれぞれ接続してください。

マニュアル発光

マニュアル発光は、2通りの方法で行うことができます。
カメラのシャッタースピードは、シンクロ同調スピード以下にセットします。

1. ストロボでのマニュアルモードの設定

- ・ストロボ側を「プリ発光キャンセル」のマニュアル発光モードに設定します。
- ・発光量はストロボ側で調整します。

2. TTL コンバーターのマニュアルモード

- ・TTL コンバーターのチャンネルを「0」にセットします。（プリ発光は、無効になります）
 - ・ストロボは、「プリ発光なし」のマニュアル発光モードに設定します。
 - ・発光量の調整は、ストロボ側で行います。
- *水中では TTL 調光に切り替えることはできません。

HSS（ハイスピードシンクロ）

本製品の HSS モードに対応したストロボで使用することができます。

- ・カメラ側のシンクロ設定を「ハイスピード」にセットします。
- ・ストロボ側を HSS モードにセットすることで、シャッタースピードを 1/8000 まで使用することができます。
- ・発光量の調整は、ストロボ側で行います。

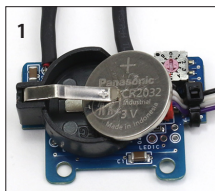
カメラへの取り付け

カメラ本体をハウジングにセットした後、ホットシューコネクタをカメラ上部のホットシューに取り付けます。
TTL コンバーターは自動的に ON となります。

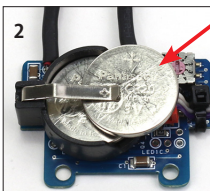


- 基板の保護とバッテリー消費節約のため、使用後は必ずカメラからホットシューコネクタを取り外してください。
- 長期間使用しない場合は、電池も取り外してください。

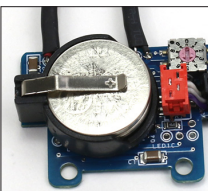
CR2032 電池の着脱方法



1. 1 枚目の電池を + 側を上にした状態で、ストッパー（電極）の下に押し込みます。



2. 挿入した 1 枚目の電池の上に、2 枚目の電池を + 側を上にした状態で、ストッパー（電極）の下に押し込みます。



3. 電池の取り外しは、上側の電池を少し起こし、指掛かりになった状態で引き出します。下側の電池も同様に引き出します。

電池残量通知（電池残量 LED）




カメラの電源 ON / 待機状態からの起動時に、電池残量 LED が 10 秒間点滅し通知します。

- 緑（電池残量充分） / ●オレンジ（電池残量少ない） / ●赤（電池交換が必要）

安全にお使いいただくために

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

以下に表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

-  **危険** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
-  **警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
-  **注意** 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

危険

- 電池の端子を、金属板や針金などで接続しないでください。感電や発火の原因になります。
- 本製品を改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。

警告

- 本製品を乳児、幼児など、本製品の取扱いの注意事項などについて理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。
- 本体に電池を入れたまま保管しないでください。
- 必ず指定の電池をご使用ください。また、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。
- 濡れた手で電池を触ると感電する危険性があります。電池は十分に乾いた手で取り扱ってください。

注意

- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化・損傷し、破損するおそれがあります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になりますので絶対に使用しないでください。